

研修本番が迫っているのに、なかなかテキストが作れない。
教えたテーマが複雑すぎて、うまく教える方法がわからない。

・・・と悩んでいる講師の方への、とっておきのお知らせです

受講者を3倍考えさせる教材づくり

1DAYワークショップ 2月28日開催

■日程：2月28日(日)10:00～16:30

■場所：池袋駅付近のセミナー会場

■定員：5名【残り3席(1/26現在)】

■対象：

- ・コンサルタントや士業、プロ講師、企業内トレーナーなど、「複雑な知識を教えなければならない」セミナー・研修を開催している方
- ・専門的な知識や技術を社員に教えている、企業の人材育成担当者
- ・教材作成をしている方

■中でもこんな方にお勧めです

- ・作りかけの研修テキストがある。
あるいは既に使っている研修テキストがある。
けれどそれでいいのか自信が持てない。
もっといいやり方がないか、**プロの目で見てもらってアドバイスが欲しい**という方
- ・他人の研修テキスト事例を通して、自分がテキストを作るときに役に立つ教訓を得たい方。
- ・「自分の知識・経験には自信がある。
けれど『教える方法』はいつも試行錯誤の方」
- ・今までは「知識を教える」タイプのセミナーをしてきたけれど、これからは「**受講者自身が考えて答えを出す**」タイプのセミナーを作りたい方

■内容：

基本的に、参加者一人一人が持ち寄った「研修テキスト」の部分部分を講師が切り取り、全員でその改善案を考える、というワークショップ型で行います。

その過程で、以下のような「教材づくりのコツ」を実地で体験的に学んでいきます。

- ・まずはキーワードを仕分けしよう
- ・ゴール・フレーズはわかりにくいほうがいい？
- ・意見の違いを顕在化させる方法とは？
- ・「わかりやすく説明する」ことの2つの副作用とは？
- ・「都市」ではなくその土台の地形に注目しよう

■過去のワークショップ／セミナー参加者の声

- 「わかりやすく理解しやすいテキストを作るだけでなく、それなりに講師経験があれば、誰でも身に付くもの。ところが、受講者の頭の中に新しい考え方を浸透させて、体験したことのない思考回路を始動させるとなると、これは次元が違う。

開米氏のセミナーがこれまでのものと決定的に違うのは**知識の伝達にとどまらない**ことです。ただ単にコンテンツを解説してわかった気にさせるだけでなく、受講者の思考が変わり行動が変わる、そんな教材づくりのコツを体感できました」(営業コンサルタント吉見範一さん)

- 「ISOのコンサルティングをしています。この分野はいろいろと難しく、一応教えはしますが、ここは**すぐには理解されなくても仕方ない**よな・・・と諦めていたテーマがありました。ところが開米さんからその部分の教材構成案が出てきたら、驚いたことに本質をとらえた超シンプルな図解チャートになっていて、思わずええーっとならうてしまいました。どっからあんな発想が出てくるんでしょう？(笑) ぜひ同じ驚きを味わってください！」(ISOコンサルタント 人見隆之さん)

- 「教材づくりもさることながら、それをセミナーで使うときのトークのコツまで教えてくれるので本当に助かってます！！」(セールス・プロワン代表 庄司充さん)

■講師

アイデアクラフト代表
教えるシナリオプランナー 開米瑞浩

■受講費：50,000円(税込)

※早期割引

2月12日(金)までにお申し込みいただけの方は30,000円に割引させていただきます。

※返金保証あり

■申込方法：

下記フォームからお申し込みください

<http://www.formzu.net/fgen.ex?ID=P30293936>

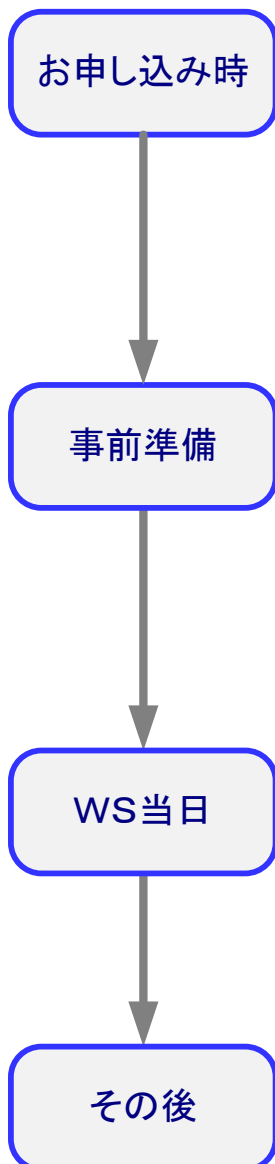
2月28日開催 **受講者を3倍考えさせる教材づくり** 1DAYワークショップ
を

10倍使い倒す方法のご案内

「受講者を3倍考えさせる教材づくり 1DAYワークショップ」から最大の成果を引き出していただくためには、ワークショップ当日「以前」「以後」の準備とフォローが鍵を握ります。

そこで、ご参加にあたって「ぜひ遠慮なくこんなリクエストをぶつけて欲しい」という願いを込めて、本ワークショップを10倍使い倒すためのご案内をいたしましょう！

いつ？



何をすると良いか？

「改善したい教材が既にあるか？」
「WS前日までに作れるか？」
を確認しましょう

対象となる教材資料はWS前日までに、できるだけ早めに開米宛にお送りください。
受講生に配布する資料に限らず、過去のセミナー、研修を録画した映像があればそれも。

気になることはドンドン質問しましょう

「実践報告」をお送りください！

なぜ??

自分自身の事例で考えないと成果が得にくいからです。
他人の事例は参考にはなりますが、そのまま使えることはありません。WSから最大の成果を引き出すためには自分自身が使いたい教材をお持ち寄りください。

開米が改善アイデアを考える時間が必要だからです。ぎりぎりに送られますと、事前準備に時間を取れません。

また、セミナー、研修本番の録画映像があればぜひお送りください。トークの「間の取り方」を知る大きな手がかりになります。

黙っていても「10倍の成果」は得られません。不安に感じていることがあれば何でもドンドン聞いてください。

教材を改善したら、またそれを実際に研修本番で使ったら、その結果をぜひお知らせください。開米からも可能な限りの助言をさせていただきます！